

訪問看護事業所及び訪問看護師アンケート(黄色)設問について

高齢者福祉計画及び 介護保険事業計画策定委員会	
R2. 5. 29	資料4-2

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
事業所代表者（管理者等）への設問					
1	令和2年1月1日現在、事業所に従事している訪問看護師は何人ですか。（実人数を記入してください）	基本項目		○	○
2	令和元年12月の1ヶ月で何人の利用者を受け入れましたか。（実人数を記入してください）	事業所の受け入れ態勢（状況）に関する設問		○	○
3	現在の看護職員数で、あと何人の利用者を受け入れる余裕がありますか。			○	○
4	現在、貴事業所では24時間対応の体制を取っていますか。			○	○
各訪問看護師への設問					
5	あなたの性別を教えてください。	基本項目		○	○
6	令和2年1月1日現在のあなたの年齢を教えてください。	基本項目		○	○
7	現在の勤務形態を教えてください。			○	○
8	あなたの臨床での経験年数を教えてください。			○	○
9	あなたの訪問看護師としての経験年数を教えてください。			○	○
10	退院支援や調整をする中でどのようなことに困りましたか。		退院調整等の時に、医療と介護の連携が図れているか現状を把握する。		○
11	医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり困ることがありますか。			○	○
12	病院における退院前カンファレンスが開催される時には、参加していますか。			○	○
13	退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携がとれていますか。			○	○
14	支援の過程で緊急時に医療機関（主治医）と連携を図る必要がある場合、連携が図れていますか。	緊急時の医療と介護の連携の現状を把握する。		○	○
15	連携が図れていない主な理由は何ですか。	医療と介護の連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○
16	利用者のケアプランなどについて居宅介護支援専門員と連携が図れていますか。	医療と介護の連携の現状を把握する。		○	○
17	連携が図れていない主な理由は何ですか。	医療と介護の連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○

訪問看護事業所及び訪問看護師アンケート(黄色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
18	利用者の服薬管理などについて薬局（薬剤師）と連携が図れていますか。	薬局（薬剤師）と連携が図れているか現状を把握する。		○	○
19	連携が図れていない主な理由は何ですか。	医療と介護の連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○
20	利用者の在宅での生活についてホームヘルパーと連携は図れていますか。	ホームヘルパーと連携が図れているか現状を把握する。		○	○
21	連携が図れていない主な理由は何ですか。	連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○
22	利用者の在宅での生活について地域包括支援センターと連携は図れていますか。	地域包括支援センターと連携が図れているか現状を把握する。		○	○
23	連携が図れていない主な理由は何ですか。	連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○
24	今後、関係機関との連携を図るために必要なことは何だと思えますか。	関係機関との連携について、訪問看護師が求めているものが何かを把握する。		○	○
25	在宅での看取りを担当したことはありますか。			○	○
26	在宅での看取りに対して、訪問看護師として不安や負担を感じたことはありますか。	在宅での看取りを行うにあたっての現状を把握する。		○	○
27	どのようなことに不安や負担を感じましたか。			○	○
28	利用者が在宅で最期を迎えたいという意思がある場合は、連携できる医師がいますか。	在宅医療に取り組む医師と訪問看護師の関係を把握する。		○	○
29	在宅医療を利用しやすくするためには、どのようなことが必要だと思えますか。	在宅医療の利用促進のため、訪問看護師が求めているものが何かを把握する。		○	○
30	要介護者が最期をむかえる場所として、どのような場所がふさわしいと考えていますか。	施設整備や在宅サービスの充実などの参考とする。		○	○
31	あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）について、知っていますか。	ACP（人生会議）の認知度を把握する。		○	—
32	このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。	ACPについての賛否を把握する。		○	—
33	ACPを実施したことがありますか。	ACPの経験・浸透度合を把握する。		○	—
34	話し合ったことがある人は、いつごろでしたか。	ACPが実施された年齢層を把握する。		○	—
35	もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合う（人生会議を実践する）時期があるとすれば、いつごろが適切な年齢だと思えますか。	ACPを実践するのに適切と考える時期を把握する。		○	—

訪問看護事業所及び訪問看護師アンケート(黄色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
36	ACPをだれに対してするべきと思いますか。	ACPを実践するべきと思う人の状態像を把握する。		○	—
37	あなたは、自分が意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたいか(受たくないか)などを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。	意思表示の書面作成についての賛否を把握する。		○	—
38	もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合う(人生会議を実践する)時期があるとすれば、いつごろが適切な年齢だと思いますか。(話し合ったことがある人は、いつごろでしたか。)	ACPを実践する際、何がきっかけとなりうるかを把握する。		○	—
39	あなたは、「かこリンク」を知っていますか。	在宅医療・介護連携推進事業の認知度を把握する。		○	—
40	あなたは「在宅医療・介護連携支援事業」として、どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。	在宅医療・介護連携推進事業を普及するために、訪問看護師が求めているものが何かを把握する。		○	—
41	今後、認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。	訪問看護師の視点から、市に求められているものが何かを把握する。		○	○
42	加古川市では、認知症の人や家族を支援するために、市内の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置していますが、知っていますか。	認知症施策の一環として平成25年度より各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置しているが、その認知度を把握する。		○	○
43	加古川市では、認知症の基礎知識や認知症の人への接し方を学ぶ「認知症サポーター養成講座」を開催していますが、知っていますか。	認知症に関する事業の認知度を把握する。		○	○
44	加古川市では、地域で認知症の方を見守るため、行方不明になる可能性のある方を日常から見守り、早期発見・早期保護するための「見守り・SOSネットワーク」を実施していますが、知っていますか。	認知症に関する事業の認知度を把握する。		○	○
45	成年後見制度について制度の概要を知っていますか。	成年後見制度の認知度を把握する。		○	—
46	あなたの担当している利用者で日常生活自立支援事業(福祉サービス利用支援事業)や成年後見制度を利用されている人はいますか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズ(特に量的側面)を把握する。		○	—

訪問看護事業所及び訪問看護師アンケート(黄色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
47	成年後見制度を利用することとなった動機は何ですか。	専門職がどのような点から成年後見制度の利用を考えるきっかけとなったかを把握する。		○	—
48	あなたの担当している利用者で既に成年後見制度を利用している人を除き、制度を利用したほうが良いと思われる人はいますか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズ（特に量的側面）を把握する。		○	—
49	利用したほうが良いと思う理由はなんですか。	専門職がどのような点から成年後見制度の利用を考えるきっかけとなったかを把握する。		○	—
50	成年後見制度を利用をすべきであるが、利用に至らない理由は何ですか。	潜在的な需要が利用につながらない要因を把握する。		○	—